

人は死んでも生き返る？

死んだ人間が生き返ることがあると考える子供が5人に1人いることが、小児神経科医の中村博志日本女子大教授らの調査で分かった。死を正しく認識している子は3割にとどまり、中村教授は「『生まれ変わり』との混同が含まれるにしても多すぎる。死の認識の低さが、最近の子供による事件や問題行動につながっているのではないか」と分析している。

調査は昨年、全国の小中高校の協力校に質問用紙を送り、記入後返送してもらう形で実施。小学生389人、中学生1407人、高校生101人の計1897人から回答を得た。

「人は死ぬとどうなると思うか」という問いに対し、「生き返る」という回答を選んだ子は173人(9.2%)、「生き返ることもある」は240人(12.7%)合わせて21.9%。「生き返らない」「分からない」がともに3割強だった。

そう思う理由を尋ねたところ、生き返ると答えた子は「何となく」が53.0%で、「見たことがある」「教えてもらった」もそれぞれ11.3%、17.8%あった。生き返らないと答えた子も「何となく」が59.3%と多数を占め「教えてもらった」は8.8%だった。

また家族や友人と死についてよく話すことがあるかどうかでは「ない」が85.5%と大半を占めた。中村教授は「死はタブー視されてきたが、自然に話し合い、正しく学べる機会を積極的にもつことが必要だ。」としている。

(2004年 12月12日 日経新聞より抜粋)

今の子供はゲーム等の影響で命のリセットがきくと考えているのかもしれませんが。死は家庭でなかなか話しにくい話題ですが、人間の命をしっかりと理解する上でとても重要なことです。

2005年2月保護者